

# 令和2年度 自己評価結果

ひらやす保育園

## 1. 保育理念

子どもの幸せのため、子どもの権利条約（①生きる権利 ②育つ権利 ③守られる権利 ④参加する権利）を遵守し、人格主義の基本理念（誠実・忍耐・勤勉）と良心を育てる。

## 2. 保育方針

本園の教育・保育は園児の言語（英語を含む）、情緒、行動、社会性および身体の調和的発達を助長し、望ましい人間形成を目指すものである。

## 3. 保育目標

- ①情緒が豊かで明るい子ども
- ②よく考え、進んで行動する子ども
- ③仲良く遊び、協力し合う子ども
- ④身体が丈夫で逞しい子ども

## 4. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画

- ・保育所の特性を活かした保育の質の向上と保護者支援の充実
- ・仕事の効率化を図る

## 5. 評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目	結 果	備 考
(1) 建学の精神や教育、保育理念に基づいた保育園の運営状況	A	
(2) 保育園の状況を踏まえた保育目標等の設定状況	A	
(3) 保育園の保育課程、保育方針について保育士間の共通理解	B	
(4) 保育園行事の管理・実施体制の状況	A	
(5) 年間の指導計画や週案などの作成の状況	A	
(6) 遊具・用具の活用	A	
(7) 保育士間の協力的な指導の状況	A	
(8) 乳幼児に適した環境に整備されているかなど、クラス経営の状況	A	
(9) 保育所保育指針の内容に沿った乳幼児の発達に即した指導の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を通して行う保育の実施の状況</li> <li>・乳幼児との信頼関係の構築の状況</li> <li>・乳幼児の主体的な活動の尊重</li> <li>・遊びを通しての総合的な保育の状況</li> <li>・一人一人の発達の特性に応じた保育の状況</li> </ul>	A	
(10) 日常の健康観察や、疾病予防のための取組、健康診断実施状況	A	

(11) 事故等の緊急事態発生時の対応の状況	A	
(12) 法定の安全計画や防災計画等の作成・実施の状況	A	
(13) 危機管理マニュアル等の作成・活用の状況	A	
(14) 安全点検や、保育士の安全対応能力の向上を図るための取組の状況	A	
(15) 個別の指導計画の作成の状況	A	
(16) 家庭との連携状況	A	
(17) 管理職の保育目標等の達成に向けたリーダーシップの状況、また多くの保育士からの信頼の状況	A	
(18) 保育園の明確な運営・責任体制の整備の状況	A	
(19) 各種文書や個人情報等の保育園が保有する情報の管理の状況、また、保育士への情報の取り扱い方針の周知の状況	A	
(20) 労働基準法等の各種法令の遵守状況	A	
(21) 保育研究の継続的实施など、指導改善の取組の状況	A	
(22) 園内における研修の実施体制の状況	A	
(23) 園内研修の課題の設定の状況	A	
(24) 園内研修・園外研修の実施・参加状況	A	
(25) 指導が不適切である保育士の状況の把握と対応の状況	A	
(26) 保育目標の設定と自己評価の実施状況 ・乳幼児や保育園の実態、保護者の意見要望等を踏まえた保育園としての目標等の設定の状況 ・目標等を踏まえた自己評価の項目の設定状況 ・自己評価が年に1回以上定期的に行われているかなどの実施状況 ・自己評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況 ・全職員が評価に関与しているかなどの体制の状況 ・自己評価の結果の設置者への報告と状況	A	
(27) 保育園に対する保護者の意見・要望等の状況 ・保護者の満足度の把握の状況 ・保育相談体制の整備状況、保護者の意見や要望の把握・対応状況	A	
(28) 保育園に関する様々な情報の提供状況	A	

(29) 保育園公開の実施の状況	B	
(30) 乳幼児の個人情報の保護の状況	A	
(31) 自己評価結果の公表状況	A	
(32) 園便りやクラス便りの発行など、主として保護者を対象とした情報の提供状況	A	
(33) 情報提供手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫の状況	A	
(34) 保護者の実情や要望による保育園の子育て支援活動の実施状況	B	
(35) 園や保育士による受け入れ体制の状況	A	
(36) 施設設備 ・施設設備の活用状況 ・施設・設備の安全・維持管理のための整備の状況	A	
(37) 遊具・用具・図書等 ・遊具・用具・図書等の整備状況 ・保育環境の充実のための取組状況	A	

#### 6. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画の考察

結 果	理 由
A	<p>・保育の質の向上</p> <p>○身近な物（ビー玉、ペットボトル、綿棒、梱包材、段ボール、コーヒーフィルター等）を活用した制作を多く取り入れることで、多様な表現が出来た。</p> <p>○廃材を使ったパズルやお買い物ごっこの品物、音遊びの楽器を作る事で保育の幅が広がった。</p> <p>・避難訓練の見直し</p> <p>○普段の保育中で起こる災害を想定しながら、訓練を行うことが出来た。職員数、時間、場所など多種多様な実施計画を行い、それに準じた訓練を行うことで、臨機応変な対応力が高められた。また、園内研修でも災害、防犯訓練の意見交換を行い、園の防犯の強化や更なる課題を出し合うことができた。</p> <p>・保護者支援</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により保育参観や運動会が挙行出来ず、保護者同士の交流の場を設ける事は出来なかったが、動画配信を用いることで子ども達の園での素顔やお友達、保育士との関わり方、普段の様子を見ていただけたと思う。</p>

## 7. 総合的な評価結果

・新型コロナウイルス感染拡大により、保育士のマスク着用が余儀なくされ、保育士の表情や声、口元の動きなどを見て感情を理解する力を身につけていく乳幼児の関わり方に配慮した。顔全体での感情表現を意識することで、マスク越しでも保育士の感情が伝わり、意思疎通ができるようになった。これからも新しい生活様式に合わせながらも必要に応じマスクを外すなどして、子ども達の成長に欠かせないスキンシップを大切にしながら安らぎと信頼感を与えられる保育を心掛けていく。

## 8. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
視聴覚保育の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・絵本、紙芝居の他に様々な視聴覚教材を制作し、保育に取り入れていく。</li><li>・行事の由来等、乳幼児にはなかなか言葉では伝えにくいことを視聴覚教材を用いて伝えていく。</li></ul>
保育環境の見直し	<ul style="list-style-type: none"><li>・発達に応じた玩具作り</li></ul> 距離感覚、指先の発達、色認識等子どもの発達に応じた玩具の充実。 <ul style="list-style-type: none"><li>・四季や行事に合わせた保育環境作り</li></ul>

### ◎「5. 6」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である